

製品安全データシート

【Safety Data Sheet】

作成日 2016 年 8 月 15 日

1. 製品及び会社情報

製品の名称：	Reagent Alcohol
会社名：	ホロジックジャパン株式会社
住所：	東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 25 号
電話番号：	03-5804-2340
FAX 番号：	03-5804-2320
メールアドレス：	japan@hologic.com
推奨用途及び使用上の制限：	装置メンテナンス用アルコール
カタログ No：	LBS-00125

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 3

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 2

発がん性：区分 1A

生殖毒性：区分 1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（麻醉作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2

（注）記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

強い眼刺激

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
エタノール	60 - 70	64-17-5	2-202
水	30 - 40	7732-18-5	-
イソプロピルアルコール	1 - 10	67-63-0	2-207
メタノール	1 - 10	67-56-1	2-201

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

エタノール、イソプロピルアルコール、メタノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

エタノール、イソプロピルアルコール、メタノール

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ったのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋及び保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(メタノール)

作業環境評価基準(1995) ≤ 200 ppm

(イソプロピルアルコール)

作業環境評価基準(2004) ≤ 200 ppm

許容濃度

(メタノール)

日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m³ (皮)

(イソプロピルアルコール)

日本産衛学会(1987) (最大値) 400ppm, 980mg/m³

(エタノール)

ACGIH(2008) STEL: 1000ppm (上気道刺激)

(メタノール)

ACGIH(2008) TWA: 200ppm

STEL: 250ppm (頭痛; 眼障害; めまい; 吐き気)

(イソプロピルアルコール)

ACGIH(2001) TWA: 200ppm

STEL: 400ppm (眼および上気道刺激; 中枢神経系損傷)

注釈 (症状、摂取経路など)

(メタノール)

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：液体

色：無色

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：約93℃

融点/凝固点：0℃

引火点：23.5℃

比重/密度：0.89

溶解度

水に対する溶解度：混和する

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（経口）

【日本公表根拠データ】

（メタノール）

human LD50=ca. 1400 mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

（イソプロピルアルコール）

rat LD50=5480 mg/kg (EHC 103, 1990)

急性毒性（経皮）

【日本公表根拠データ】

（メタノール）

区分外 rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOTvol.16, 2001)

（イソプロピルアルコール）

rabbit LD50=12870mg/kg (EHC 103, 1990)

急性毒性（吸入）

【日本公表根拠データ】

（メタノール）

区分外 vapor :rat LC50>31500 ppm/4hr (DFGOTvol.16, 2001)

労働基準法：疾病化学物質

メタノール

局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

【日本公表根拠データ】

（エタノール）

ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998et al)

（メタノール）

ラビット 区分2：Draize test (EHC 196, 1997)

（イソプロピルアルコール）

ラビット (PATTY 6th, 2012et al)

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

【日本公表根拠データ】

(エタノール)

ACGIH 7th, 2012; IARC, 2010

(エタノール)

IARC-Gr.1: ヒトに対して発がん性がある

(イソプロピルアルコール)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(エタノール)

ACGIH-A3(2008): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(イソプロピルアルコール)

ACGIH-A4(2001): ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

【日本公表根拠データ】

(エタノール) cat.1A; human: PATTY 6th, 2012

(イソプロピルアルコール) cat.2; PATTY 6th, 2012

(メタノール) cat.1B; mouse: PATTY 5th, 2001

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

【区分1】

【日本公表根拠データ】

(イソプロピルアルコール) 中枢神経系、全身毒性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

(メタノール) 中枢神経系、視覚器、全身毒性 (DFGOT vol.16, 2001)

【区分3(気道刺激性)】

【日本公表根拠データ】

(エタノール) 気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)

(イソプロピルアルコール) 気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

【区分3(麻酔作用)】

【日本公表根拠データ】

(エタノール) 麻酔作用 (PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005)

(メタノール) 麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

[区分1]

【日本公表根拠データ】

（エタノール） 肝臓（DFGOT vol.12, 1999）

（イソプロピルアルコール） 血液系（EHC 103, 1990）

（メタノール） 中枢神経系、視覚器（ACGIH 7th, 2001）

[区分2]

【日本公表根拠データ】

（エタノール） 中枢神経系（HSDB, Access on June 2013）

（イソプロピルアルコール） 呼吸器、肝臓、脾臓（EHC 103, 1990）

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性（急性） 成分データ

【日本公表根拠データ】

（メタノール）

甲殻類（ブラインシュリンプ） LC50=900.73 mg/L/24hr（EHC196, 1998）

（エタノール）

藻類（クロレラ） EC50=1000 mg/L/96hr（SIDS, 2005）

（イソプロピルアルコール）

魚類（メダカ） LC50 > 100 mg/L/96hr（環境庁生態影響試験, 1997）

水生毒性（長期間） 成分データ

【日本公表根拠データ】

（エタノール）

甲殻類（ニセネコゼミジンコ属） NOEC=9.6 mg/L/10 days（SIDS, 2005）

（イソプロピルアルコール）

甲殻類（オオミジンコ） NOEC > 100 mg/L/21days（環境庁生態影響試験, 1997）

水溶解度

（エタノール）

混和する（ICSC, 2000）

（メタノール）

100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2009)

（イソプロピルアルコール）

In water, infinitely soluble (25 C) (HSDB, 2013)

残留性・分解性

(エタノール)

急速分解性があり (BODによる分解度 : 89% (既存点検, 1993))

(イソプロピルアルコール)

急速分解性があり (BODによる分解度 : 86% (既存点検, 1993))

生体蓄積性

(エタノール)

log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)

(メタノール)

log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)

(イソプロピルアルコール)

log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 1987

品名 (国連輸送名) :

アルコール類、N.O.S.

国連分類 (輸送における危険有害性クラス) : 3

容器等級 : III

指針番号 : 127

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質 (Y類)

メタノール

有害液体物質(Z類)

エタノール、イソプロピルアルコール

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

イソプロピルアルコール、メタノール

名称表示危険/有害物（令18条）

イソプロピルアルコール(区分内番号2の3)、メタノール(区分内番号36)、エタノール
別表第1 危険物（第1条、第6条、第15条関係）

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)

名称通知危険/有害物（第57条の2、令第18条の2別表9）

エタノール(区分内番号61)、イソプロピルアルコール(区分内番号494)

メタノール(区分内番号560)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体アルコール類 危険等級 II

化審法

優先評価化学物質

メタノール(政令番号90 人健康影響)

イソプロピルアルコール(政令番号102 人健康影響)

大気汚染防止法

特定物質（政令第10条）

メタノール

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures(table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の見扱いを対象としたものであって、特殊な見扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 平成26年度）です。